

安全データシート

作成日：2017/01/16

改訂日：

1. 製品及び会社情報

製品名	アーキテクト® HAVAB®-G・アボット (コンジュゲート)
製品コード	6C2927_6C29H New (100 回用) 6C2922_6C29H New (400 回用)
会社名	アボットジャパン株式会社
住所	東京都港区三田三丁目 5 番 27 号
担当部門	カスタマーサポートセンター
電話番号	0120-031441
緊急連絡先	カスタマーサポートセンター 0120-031441
整理番号	CSC483-1

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 区分外

健康に対する有害性

感作性（皮膚） 区分 1

環境に対する有害性 区分外

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
内容物/容器を適切な方法で廃棄すること。

GHS 分類に該当しない
他の危険有害性

皮膚感作（アレルギー反応）を引き起こすおそれ

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別		混合物		
成分名（化学名又は一般名）	化学特性	CAS 番号	濃度 又は 濃度範囲	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
ポリ(オキシエチレン)=アルキル エーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 まで)	RO(CH ₂ CH ₂ O) _n H	68131-40-8	1.9%	(7)-97
非公開	非公開	非公開	98.1%	非公開

4. 応急措置

吸入した場合	暴露源を取り除くこと。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	製品が付着した衣類を脱ぐ。付着した部位を流水で 15～20 分間洗うこと。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	数分間、水で注意深くすすぐこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。眼刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。取扱い後は手を洗うこと。
飲み込んだ場合	水で口をすすぐ。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状	アレルギー反応 免疫応答のおそれ 皮膚感作反応を起こすおそれ
医師に対する特別な注意事項	データなし

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、噴射水、または泡消火剤 注意：閉鎖された空間で二酸化炭素を使用する場合には、酸欠を引き起こす可能性があるため、注意すること。 規模の大きい火災の場合：この製品に関連する消火活動の方法を決める際、考慮すべき特有の化学物質や危険な反応性はない。環境に適した消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤 消火を行う者の保護	情報なし 規模の大きい火災の場合には、適切な耐熱、耐炎保護衣、呼吸保護具等を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	項目 8.に記載の適切な保護具を使用することにより、暴露を最小限にすること。可能であれば、漏出を止めること。 保護具を着用していない者を近づけないこと。
環境に対する注意事項	液体及び蒸気を下水道、排水口、表層水または土壌に浸入させないこと。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	少量の漏出の場合はペーパータオル等で吸い取る。 大量の場合、吸収材で囲って流出を防止する。ペーパータオル、一般的な吸収材、砂、珪藻土、おがくずなどの液体吸収材で吸い取ること。 漏出したエリアを清掃すること。温水と合成洗剤または類似の洗剤が適切である。 汚染されたものの廃棄については項目 13.を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策（局所排気・ 全体換気等）	爆発および火災に対する特別な対策は必要ない。
安全取扱い注意事項	皮膚への接触を避けこと。
接触回避	データなし
保管	
安全な保管条件	保管に関する追加情報は、添付文書または製品ラベルを参照すること。 熱と直射日光を避けること。
安全な容器包装材料	オリジナルの容器及び包装でのみ保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策
許容濃度

情報なし

危険有害成分	日本産業衛生学会 (2015年版)	ACGIH (2016年版)
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	設定なし	設定なし

保護具

呼吸用保護具

通常の使用及び保管、または少量の飛沫(例 ペーパータオル等で十分吸い取ることができる量)の場合- よく換気されている室内では必要ない。

その他の異常事態 (例 大量の漏出)、または消火活動などを行う場合 - 化学物質濃度が暴露限界を超えているような場合には、適切な濾過式呼吸用保護具を使うこと。

手の保護具

手に製品が接触するおそれがある場合には、保護手袋を着用すること。使用後の汚染した手袋は、適切な方法で廃棄すること。

眼の保護具

安全眼鏡等を着用すること。液がはねる可能性がある場合、フルフェイスマスクまたはゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

通常の使用：実験服か他の適切な保護服を着用し、衣服の汚染を防止すること。

大量の漏出(例 衣服に浸み込む量)の場合：防水性の保護衣を着用する。

特別な注意事項

製品を使用する場所をいつも清潔に保ち、一般的な注意事項に従うこと。製品又は検体を使用する場所で、飲食を行わないこと、食料及び飲料を保管しないこと。休憩開始時、製品や検体を取り扱った後および作業終了時には手を洗うこと。

皮膚への接触を避けること。

汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。

9. 物理的及び化学的性質

製品として

外観	
形状	液体
色	透明
臭い	無臭
pH	6.6 (20°C)
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	引火性なし
自然発火温度 (発火点)	自然発火性なし
燃焼または爆発範囲の 上限／下限	爆発の危険性なし
蒸気圧	情報なし
比重 (相対密度)	1.031 g/cm ³ (20°C)
溶解性	水に対して：完全に混和できる
粘度(粘性率)	水に対して：92.1%

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	仕様書通りの使用であれば、分解しない。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は報告されていない。

11. 有害性情報

製品として

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び刺激性	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性 または眼刺激性	刺激性なし
呼吸器感作性または皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

1 2. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

製品を、地下水、水域または下水道に浸入させないようにする。
製品は土壌に漏えいした場合、地下水を飲むのは危険である。

1 3. 廃棄上の注意

本製品は、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制		
陸上	ADR (欧州危険物道路輸送協定)	該当しない
海上	IMDG (国際海上危険物規則) 海洋汚染物質	該当しない 非該当
航空	IATA (国際航空運送協会危険物規則)	該当しない
国連分類	該当しない	
国連番号	該当しない	

1 5. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)	ポリ (オキシエチレン) =アル キルエーテル(政令番号 : 407)
---------------------------	--	--

16. その他の情報

- 連絡先** お問い合わせの第一報は、カスタマーサポートセンター：0120-031441 まで。
- その他** この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。
- なお、含有量、物理/化学的性質、危険有害などの記載内容は、情報提供を目的とするものであり、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。
- また、この安全データシートの内容について、特に混合物の場合には、成分の濃度等を考慮した上でご閲覧ください。